ガス発生器の安全性に関する試験方法とその判定結果等について

試験項目	試験方法	試験結果	適否
外殻構造試験	内規試験方法*のとおり	内部の火薬類が容易に取り出せない構造である。	適
通常点火試験	内規試験方法のとおり（サンプル数:3）	試験後、外殻の破損・飛散物はなかった。周囲に被害を与えるような残ガスは発生していない。	適
加熱試験	内規試験方法のとおり（サンプル数：3）	試験中に爆発・発火は起こらなかった。試験後、外殻の破損・飛散物がなく、正常に作動した。	適
振動試験	ISO 14451-2 (2013) 4.3のVibration and temperature test（サンプル数：3）	試験中に爆発・発火が起こらなかった。試験後、正常に作動した。	適（同等）*
落下試験	内規試験方法のとおり（サンプル数：3）	落下の衝撃による爆発・発火が起こらなかった。試験後、正常に作動した。	適
伝火（爆）試験	内規試験方法のとおり（サンプル数：3対（6個））	伝火したが、通常の取扱状況において安全上の問題はないことを確認した。	適
外部火災試験	ISO 14451-2 (2013) 4.6のFire test（サンプル数:6）	爆発は発生せず、飛散物は生じなかった。	適（同等）

＊「内規試験方法」とは、「適用除外火工品審査実施要領（内規）」に規定する「火工品の安全性評価基準」の試験方法をいう。
＊「適（同等）」とは、内規試験方法とは異なる方法で実施しているが、安全性評価基準と同等以上の安全性であると考えられることをいう。